

家庭
掲示用

～家庭教育資料～

しつけは子どもへの大切な贈り物

早寝早起きをする 習慣をつけましょう。

毎日 朝食をとる 習慣をつけましょう。

あいさつする 習慣をつけましょう。

あいさつされたら、あいさつ返しも大切です。

(相手に聞こえる声の大きさに)

規則正しく排泄する 習慣をつけましょう。

靴や持ち物を整理する 習慣をつけましょう。

お手伝いをする 習慣をつけましょう。

家庭学習をする 習慣をつけましょう。

～ は家庭教育の充実度の

リトマス試験紙です。

「基本的な生活習慣」は、お子さんの実態にあった家庭教育がされなければ身に付きません。ご家庭の取り組み方によって決まります。

「子は大人の鏡」「子の将来は親力」で決まります。

「豊かな心」は「豊かな心を育む家庭環境」の中で育ちます。私たち自身の「豊かな心」育てが必要ですね。家庭と学校・地域の協力が大切だと思います。

子は「親・教師・大人」の鏡

家庭学習の進め

厚木市立戸田小学校 1・2年生用

1 かていがくしゅうは、なぜするのでしょうか？

学習の習慣を身につけるため。

学習したことをしっかり身につけるため。

こつこつと がんばる心を育てるため。

がんばった後の よろこびをあじわうため。

しょうらいのゆめを かなえるため。

2 家庭学習の かていがくしゅう もくひょうの時間 じかん

1年生=20分以上(10(分)×1(学年)+10分=10(分)以上) できたら20分~30分以上。

2年生=20分以上(10(分)×2(学年)=20(分)以上) できたら30分~40分以上。

3 家庭学習の約 かていがくしゅう 束 やくそく

(1) 学 がくしゅう 習 しゅう するものを がくしゅう じゅんびしてはじめる。 がくしゅう どん がくしゅう な 学 習 がくしゅう をする。(自主学習のすすめ参照)

しゅくだい おんどく(ほんよみカード) につき きょうかしよ こくこの本

どくしよする本 ドリルやプリント

ひっきようぐ(えんぴつはけずっておく・したじき・けしごむ)……………など

(2) ただしいえんぴつのもちかた、正しいしせいで学 がくしゅう 習 しゅう する。

(3) テレビをけし、しずかに しゅうちゅうしてする。~~しながら、学習はしない。

(4) 学 がくしゅう 習 しゅう するじこくとじか じかん んを きめて行く。

(5) ノートやプリントは

ていぬいな字でかく 日づけをかく(つき にち) ページをとばさないでかく

(6) 家庭学習のノートやプリントはおうちの人に見てもらい、サインをもらう。

できたら答 こたえ え あわせ 合 あわせ わ あわせ せをしてもらいましょう。

かていがくしゅうのすすめ こくご

1・2年生用

- (1) 本よみは、すらすらよめるように、声をだしてれんしゅうしましょう。
(正しくよめたか、おうちの人にきいてもらい、音どくカードにサインしてもらいましょう。)
- (2) 正しくていねいに かきうつす(視写=ししゃ)
- (3) かんじのれんしゅうをする。
- (4) ことばあつめをする。
しりとり ちいさい「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」のつくことば
「 」 「 ° 」のつくことば
かんじでなかまあつめ
- (5) みじかいぶんをつくって書く。
ならった「かん字」や「ことば」をつかう。
「し」や「さくぶん」を書く。
- (6) ぶんがく作品をおぼえる。(ろんご・たんか・はいく など)

さんすう

- (1) おべんきょうしたことを ふくしゅうする。
- (2) 「きょうかしよ」や「もんだいしゅう」をうつして書く。
- (3) 「けいさん」は せいかくにはやくできるようにする。
- (4) じぶんでもんだいを作って、ノートに書く。
- (5) まちがった もんだいをといてみる。

せいかつ

- (1) わたしたちのまわりの花や虫をかんさつし、まとめる。
- (2) 気がついたことや、かんじたことを、ノートにまとめる。
- (3) じぶんがそだてた生き物のかんさつをする。(お花やこんちゅう・どうぶつ など)
- (4) ずかんなどで、しらべてわかったことをノートに書く。
- (5) はたらく人のようすをしらべて ノートに書く。
- (6) はたらく人に、はなしをきいてまとめる。 (7) すなあそびや土をさわってあそぶ。

おんがく

- (1) かしをおぼえて、げんきな・やさしい声でうたう。
- (2) リズムや音プをおぼえる。
- (3) けんぱんハーモニカのれんしゅうをする。

そのた

- (1) どくしょして かんそうを書く。
- (2) いえにあるもんだいしゅうをする。
- (3) なわとびやてつぼうなどで、たいりよくづくりに「チャレンジ」する。

につき

- (1) 見つけたことをかきましょう。
- (2) じぶんがしたことをふりかえりましょう。
- (3) そのときの自分のきもちも書きましょう。
- (4) ばしょやじかんも書きましょう。

きほんてきな「せいかつしゅうかん」

じぶんのことはじぶんでする

- (1) はやねはやあき。 9じには ねましょう。 6じ~7じには おきましょう。
- (2) あいさつ。

おはよう ありがとう ごめんなさい さようなら ただいま いただきます ごちそうさま など

- (3) あさごはんをたべる。 (4) あさのはいべん(うんち)をする。(1日に1回はしましょう)
- (5) はみがき・かおをあらう。 (6) おてつだいをする。 (7) くつをそろえる。
- (8) あすの学 習じゅんびは(学習の構えづくり) 前の日に行う。
- (9) 持ち物を大切に^{がくしゅう}する心の第^{かま}一段階^{まえ}は、持ち物の^ひ記名^{おこな}から。……………等

お子さんの実態にあった、保護者の皆さんの取り組みがなされなければ身に付きません。

学力定着の判断材料になりうる 学習用具の準備ができる。 家庭学習の時間・内容

ノートの整理(ていねい)

学力の定着度合い： が不十分な場合、学校の学習だけではほど遠いですね。

家庭
掲示用

～家庭教育資料～

しつけは子どもへの大切な贈り物

早寝早起きをする 習慣をつけましょう。

毎日 朝食をとる 習慣をつけましょう。

あいさつする 習慣をつけましょう。

あいさつされたら、あいさつ返しも大切です。

(相手に聞こえる声の大きさで)

規則正しく排泄する 習慣をつけましょう。

靴や持ち物を整理する 習慣をつけましょう。

お手伝いをする 習慣をつけましょう。

家庭学習をする 習慣をつけましょう。

～ は家庭教育の充実度の

リトマス試験紙です。

「基本的な生活習慣」は、お子さんの実態にあった家庭教育がされなければ身に付きません。ご家庭の取り組み方によって決まります。

「子は大人の鏡」「子の将来は親力」で決まります。

「豊かな心」は「豊かな心を育む家庭環境」の中で育ちます。私たち自身の「豊かな心」育てが必要ですね。家庭と学校・地域の協力が大切だと思います。

子は「親・教師・大人」の鏡

家庭学習の進め

厚木市立戸田小学校 3・4年生用

1 家庭学習のねらい

- 学習の習慣を身につけるため
- 学習の内容を確実に身につけるため
- こつこつと がんばる心を育てるため
- がんばった後の よろこびを味わうため
- しょうらいの夢を かなえるため

2 家庭学習の ^{かていがくしゅう} ^{じかん} もくひょうの時間

3年生 = 30分以上 (10(分) × 3(学年) = 30(分)以上) できたら40分～50分以上。

4年生 = 40分以上 (10(分) × 4(学年) = 40(分)以上) できたら50分～60分以上。

3 家庭学習の ^{やくそく} 約束

- (1) 学習するものを ^{じゅんび} 準備してはじめる。
しゅくだい おんどく(ほんよみカード) につき きょうかしよ こくごの本
どくしよする本 ドリルやプリント
ひっきようぐ(えんぴつはけずっておく・したじき・けしごむ)……………など
- (2) どんな内容をする。(自主学習のすすめ参照)
- (3) ただし 姿勢で、字もていねいを書く。
- (4) テレビやラジオ、曲をけて、集中して勉強する。 ～しながら、学習はしない。
- (5) 毎日、決めた時こくに、目標時間を勉強する。
- (6) 学習した事はあうちの人に見てもらい、サインをもらう。
できたら答え合わせをしてもらいましょう。

家庭学習のすすめ

3・4年生用

国語

- (1) 音読をする。(すらすら読めるように、聞こえる声をだして練習する。)
- (2) 漢字ドリルなどを使って、新出漢字や習った漢字の練習をする。
- (3) じゆく語を調べたり・じゆく語作りをする。
- (4) 視写(ししゃ)する。=正しくていねいに書き写す。
- (5) 短文をつくる。
- (6) 語句の意味やことわざを調べる。(大切=辞典を使って調べる)
- (7) 同じ部首の漢字を調べる。 (8) ローマ字の練習をする。(9) 読書をして感想を書く。
- (10) 詩・俳句・作文を書く。 (11) 論語・俳句・詩・文学作品を暗誦する。

算数

- (1) 学習したことを復習する。
- (2) 「教科書」や「ドリルの計算問題」を復習する。
- (3) 自分で文章問題を作り解いていく。
- (4) 長さや重さなどの単位を調べる。
- (5) 定規(じょうぎ)や分度器(ぶんどき)コンパスなどを使って図形をかく。
- (6) まちがった問題をといてみる。

社会

- (1) 社会の教科書を読み、大事なところをまとめる。
- (2) いろいろな地図の記号を覚える。
- (3) 神奈川県各市町村名や場所を覚える。
- (4) 調べ学習では図書館の本や資料などを利用して、自分の分かったこと・感想などをまとめる。
- (5) 新聞の切りぬきをして資料をまとめる。
- (6) 都道府県名や県庁所在地を覚える。

理科

- (1) 理科の教科書をよく読み、大事な所をまとめる。 (2) 実験の予想を立ててみる。
- (3) 観察したことや図書館などで調べたことをまとめる。(動植物・天気・太陽・月・星座 等)

音楽

- (1) 音符を正しく読み、本をよく見て、書く練習をする。
- (2) リズムや音プをおぼえる。
- (4) 習ったいろんな歌を聴いたり、歌ったりする。
- (3) リコーダーやけんぱんハーモニカのれんしゅうをする。(5) いろいろな記号をお覚える。

図工

- (1) スケッチやデッサンの練習をする。(物をくわしく見てえがく)

体育

- (1) めあてを持って、自分自身の能力にあった体力づくりにちょうせんする。
(なわとび・持久走・鉄棒・ボール運動 等)

日記

- (1) その日の出来事をふり返り、自分の気持ちも入れて書く。
(学習したこと、遊んだこと、お手伝いしたこと、見つけたこと等を書く。)
- (2) 自分の良いことがらを毎日書き続ける。(自分の良いこと見つけ)

そのた

- (1) 読書量を増やす。(できたら感想を書く) (2) 家にある問題集や塾の宿題などをする。

基本的な「生活習慣」

自分のことは自分でできるようにしよう。

- (1) 早寝早起き 9時~9時30分には寝ましょう。 6時~7時には起きましょう。
- (2) あいさつ。

おはよう ありがとう ごめんなさい さようなら ただいま いただきます ごちそうさま など

- (3) 朝ご飯を食べる。(4) 朝に排便をする。(5) 歯磨き・洗顔をする。(6) くつをそろえる。
- (7) おてつだいをする。(8) 明日の学習準備は(学習の構えづくり)前の日に行く。
- (9) 持ち物を大切に^{もちもの}する心の第^{だいいちだんかい}一段階^{もちもの}は、持ち物の記名から。……………等

保護者の皆様のお子さんの実態にあった、取り組みがなされなければ身に付きません。

学力定着の判断材料になりうる 学習用具の準備ができる。 家庭学習の時間・内容

ノートの整理(ていねい)

学力の定着度合い： 那不十分な場合、学校の学習だけではほど遠い。

家庭
掲示用

～家庭教育資料～

しつけは子どもへの大切な贈り物

早寝早起きをする 習慣をつけましょう。

毎日 朝食をとる 習慣をつけましょう。

あいさつする 習慣をつけましょう。

あいさつされたら、あいさつ返しも大切です。

(相手に聞こえる声の大きさで)

規則正しく排泄する 習慣をつけましょう。

靴や持ち物を整理する 習慣をつけましょう。

お手伝いをする 習慣をつけましょう。

家庭学習をする 習慣をつけましょう。

～ は家庭教育の充実度の

リトマス試験紙です。

「基本的な生活習慣」は、お子さんの実態にあった家庭教育がされなければ身に付きません。ご家庭の取り組み方によって決まります。

「子は大人の鏡」「子の将来は親力」で決まります。

「豊かな心」は「豊かな心を育む家庭環境」の中で育ちます。私たち自身の「豊かな心」育てが必要ですね。家庭と学校・地域の協力が大切だと思います。

子は「親・教師・大人」の鏡

家庭学習の進め

厚木市立戸田小学校 5・6年生用

1 家庭学習のねらい

学習の習慣を身につけるため。(自分から進んで勉強する力を身につける)

学習の内容を確実に身につけるため。

基礎的な学力を確実に身につける。(読む力・書く力・聞く力・計算する力)

こつこつと がんばる心を育てるため。

がんばった後の よろこびを味わうため。

将来の夢を かなえるため。

2 家庭学習の もくひょうの時間

5年生 = 50分以上 (10(分) × 5(学年) = 50(分)以上) できたら60分~70分以上

5年生の全国平均80分、(30分以下 = 約33%、60分以上 = 65%)

6年生 = 60分以上 (10(分) × 6(学年) = 60(分)以上) できたら70分~80分以上

3 家庭学習の約束

(1) 学習するものを 準備してはじめる。

(2) 具体的な目標を立てる。

何時から何時まで勉強する。

どんな内容をする。(自主学習のすすめ参照)

・計算ドリル・漢字ドリル・教科書の視写・地名調べ・意味調べ・リコーダー・笛の練習・読書

(3) テレビやラジオ、曲をけして、集中して勉強する。 ~ ~しながら、学習はしない。

(4) 毎日、決めた時こくに、目標時間を勉強する。

(5) 学習した事はおうちの人に見てもらい、サインをもらう。

できたら答え合わせをしてもらいましょう。

家庭学習のすすめ

5・6年生用

「読み(本)・書き(漢字練習)・計算」は毎日行なおう！！

国語

- (1) 音読をする。(すらすら読めるように、聞こえる声をだして練習する。)
- (2) 漢字ドリルなどを使って、新出漢字や習った漢字の練習をする。
- (3) じゆく語を調べたり・じゆく語作りをする。
- (4) 視写(ししゃ)する。=正しくていねいに書き写す。
- (5) 語句の意味やことわざを調べる。(大切=辞典を使って調べる)
- (6) 短文をつくる。
- (7) 同じ部首の漢字を調べる。
- (8) ローマ字の練習をする。
- (9) 読書をして感想を書く。
- (10) 詩・俳句・作文を書く。
- (11) 論語・俳句・詩・文学作品を暗誦する。

算数

- (1) 学習したことを復習する。
- (2) かけ算やわり算を速く正確にできるように練習する。
- (3) 「教科書」の計算問題を復習する。
- (4) 計算ドリルを使って何度も練習する。
- (5) 自分で文章問題を作り解いていく。
- (6) 長さや重さなどの単位を書いて覚える。
- (7) 定規(じょうぎ)や分度器(ぶんどき)コンパスなどを使って図形をかく。
- (8) まちがった問題をといてみる。

社会

- (1) 社会の教科書を読み、大事なところをまとめる。
- (2) いろいろな地図の記号を覚える。
- (3) 日本の都道府県名と県庁所在地を覚える。
- (4) 日本の地形を調べる。
- (5) 調べ学習では図書館の本や資料などを利用して、自分の分かったこと・感想などをまとめる。
- (6) 新聞の切りぬきをして資料をまとめる。
- (7) 歴史の年号やその時の出来事を調べる。
- (8) 身近な外国との関係を調べる。

理科

- (1) 理科の教科書をよく読み、大事な所をまとめる。
- (2) 実験の予想を立ててみる。
- (3) 実験器具の図を書いて覚える。
- (4) 観察したことや図書館などで調べたことをまとめる。(動植物・天気・太陽・月・星座 等)

音楽

- (1) 歌詞や階名で歌う。
- (2) リコーダーやけんぱんハーモニカの練習をする。
- (3) 楽譜を写し、音符や記号を覚える。

図工

- (1) スケッチやデッサンの練習をする。(物をくわしく見てえがく)

体育

- (1) めあてを持って、自分自身の能力にあった体力づくりにちょうせんする。
(なわとび・持久走・鉄棒・ボール運動 等)

日記

- (1) その日の出来事をふり返り、自分の気持ちも入れて書く。
(学習したこと、遊んだこと、お手伝いしたこと、見つけたことを書く。)
- (2) 自分の良いことがらを毎日書き続ける。(自分の良いこと見つけ)

その他

- (1) 読書量を増やす。(できたら感想を書く)
- (2) 家にある問題集や塾の宿題などをする。

基本的な「生活習慣」

自分のことは自分でできるようにしよう。

- (1) 早寝早起き 9時~10時には寝ましょう。 6時~7時には起きましょう。
- (2) あいさつ。
おはよう ありがとう ごめんなさい さようなら ただいま いただきます ごちそうさま など
- (3) 朝ご飯を食べる。(4) 朝に排便をする。(5) 歯磨き・洗顔をする。(6) くつをそろえる。
- (7) おてつたいをする。(8) 明日の学習準備は(学習の構えづくり)前の日に行う。
- (9) 持ち物を大切に^{ひらもち}する心の第一段階は、持ち物の記名から。……………等

保護者の皆様のお子さんの実態にあった、取り組みがなされなければ身に付きません。

学力定着の判断材料になりうる 学習用具の準備ができる。 家庭学習の時間・内容

ノートの整理(ていねい)

学力の定着度合い： が不十分な場合、学校の学習だけではほど遠い。